

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年3月26日（火）

2 確認箇所

- ・ T.P. 33.5m盤
- ・ 免震重要棟集中監視室

3 確認項目

- (1) 窒素ガス分離装置の取替工事の進捗状況
- (2) 2号機燃料デブリ冷却状況の確認試験の準備操作の状況

4 確認結果の概要

- (1) 窒素ガス分離装置の取替工事の進捗状況について

前回に引き続き、窒素ガス分離装置(A、B)の取替工事の進捗状況を確認した。(前回確認：平成30年8月30日)

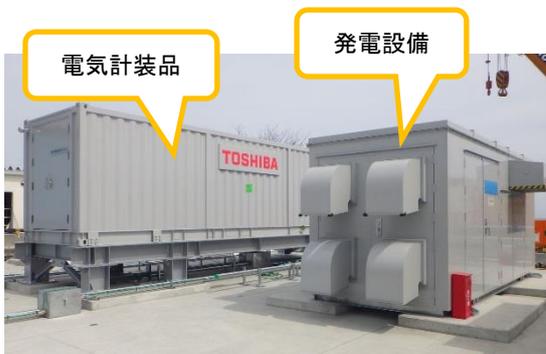
- ・ 前回確認時、当該装置を設置するための基礎工事が完了し、変電設備が設置されていたが、当該装置本体を収納したコンテナ、発電設備、電気計装品コンテナ等が設置されていた。(写真1)



(写真1-1) 前回撮影



(写真1-2) 今回撮影



(写真1-3)



(写真1-4)

(2) 2号機燃料デブリ冷却状況の確認試験の準備操作の状況について

原子炉注水停止時の手順の最適化や運転・保守管理上の改善等を行うことを目的とした燃料デブリの冷却状況確認試験（2号機原子炉注水量の低減確認試験）が平成31年4月2日から16日にかけて予定されており、準備操作が3月25日から開始された。

2号機原子炉注水量の低減操作を実施するに当たり、設備を共用している1, 3号機の原子炉注水流量・圧力のバランスを調整する観点から、1, 3号機の原子炉注水量を増加させる準備操作が必要である。

本日（3月26日）、2回目の準備操作が実施されたことから、免震重要棟集中監視室で操作状況やプラント関連パラメータを確認した。

- ・確認時は1号機原子炉注水量を増加させる作業が行われていた。作業に当たっては、免震重要棟集中監視室と現場の東京電力職員が緊密に連絡を取りあっていた。
- ・操作する弁は電動弁であるが、精細な操作を行うため、手動による操作が実施された。
- ・作業は10時32分から10時55分にかけて実施され、問題なく目標の注水量（約2.0m³/h→約2.5m³/h）まで変更された。
- ・作業開始前後で原子炉注水ポンプ圧力等のプラント関連パラメータに異常な値は確認されなかった。

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。